

創業するなら保証協会へ

徳島県信用保証協会の 創業支援の取組について

令和元年8月7日

 徳島県信用保証協会

1. 中小企業を応援する「総合支援機関」として

背景

① 地域の活力の減退

・事業者数の大幅減少 ・地域の雇用の喪失

② 地域の需要の減退

・人口減少と高齢化 ・原材料価格等の高騰 ・人手不足 ・国内外での競争激化

県内
中小企業者
の減少



● 県内中小企業者数と保証利用状況の推移

- ※中小企業者数は、ピーク時（H11年度）と比べて33%減少、直近10年間でも16%減少
- ※保証利用者数は、ピーク時（H11年度）と比べて51%減少、直近10年間でも20%減少

— 当協会の方向性 —

地域の経済・雇用の担い手である県内中小・零細企業を力強く応援していくため、保証による「金融支援」に加え、「経営支援」「創業支援」に積極的に取り組む「総合支援機関」を目指す。

① 保証による金融支援

- 「行動する保証協会」による現場主義の徹底、「信頼される保証協会」として、中小企業・小規模事業者に寄り添い、力強く応援する。
- 顧客満足度の向上と「保証推進強化チーム」の活用等による保証利用率の拡大に努める。

② 経営支援

- 新規の国庫補助事業（中小企業・小規模事業経営支援強化促進補助金）を活用した「経営支援・創業支援強化事業」を中心に、関係機関と協力して中小企業者の経営支援・再生支援に取り組む。

③ 創業支援

- 「年間100名」の創業者を当協会から安定的に創出することにより、地域の雇用創出と経済の活性化を図る。
- 創業セミナー・イベント等を継続的に開催し、地域経済において創業機運が高まるよう努める。

地方創生の
観点から
重要課題

2. 創業のフェーズに応じた一連のサポート

○お客さまの“夢”の実現をしっかりとサポートいたします。 **創業するなら保証協会へ!**

創業前相談で
創業計画作成から伴走支援

無担保保証制度により
安心の資金調達

担当者が専門家と
3年間のフォローアップ

創業前



創業前相談・休日創業相談

当協会では早い段階からお客様に關与して、創業計画のお手伝いをしていきます。また、平日、お勤めなどで窓口にごられないお客様のために、毎月第3日曜日に、事前予約制で個別相談も行っております。

創業のサポートガイド発行

創業をめざすみなさまに、創業の手引き・事例集を発行しております。創業に必要な事業計画書の作成手順を中心に、創業事例のご紹介などを説明しております。ご希望の方は、当協会「創業推進課」までお申し出ください。



女性の方も安心して相談いただけます

創業推進課のうち4名が女性担当者となっており、創業を志す女性や女性経営者にも安心して相談いただける環境を整えております。女性ならではのきめ細やかな対応を心掛け、みなさまのパートナーとしてサポートしていきます。

創業時



金融支援で力強くバックアップ

創業される際さらには創業してからも金融面でサポートする保証制度を多数ご用意しております。事業計画策定と同時にお客様に適した融資組立もあわせて行っているため、事業計画書完成時点で保証付き融資での資金調達も可能となり、“夢”の実現がよりスピードアップします。

また、創業時の支援だけでなく、創業した後の資金調達に対しても最大限のお手伝いをさせていただきます。みなさまのニーズに応えられるよう、各種保証制度をご用意しておりますので、是非ご活用ください。

創業に関する情報を随時発信

当協会では創業者のみならず、創業をお考えになられている方々の不安や悩み事の解消に少しでもお役にたてるよう、メールマガジンを通じて各種お役立ち情報やイベント・セミナー情報などの発信を行っております。登録は無料です。

創業後



フォローアップで創業後も安心

創業して間もない方は、何かと不安や悩みを抱えている場合があります。そのため、当協会では創業支援後**3年間のフォローアップ**を実施しております。専門家とも連携しておりますので、安心してご相談ください。



3年間のフォローアップを実施



○地域活性化に向け、**地方創生・女性・若者**を軸に各種支援策を展開!

<以下次ページ>

3. 「地方創生」流れを加速!

○連携先として、産官学金労言に「地」を加え、右記のように定義した。



平成28年11月30日
全国イノベーション推進機関ネットワーク
が主催する
「第7回イノベーションネットアワード」
に応募し、
優秀賞を受賞!

●これから創業者の方対象イベント・セミナー

四国へ

しこく創業セミナーin徳島
四国各県の信用保証協会

四国内の保証協会が一体となって、創業セミナーを開催。創業機運を四国全体で盛り上げる第一歩。

さらに
東京へ

移住×シゴトづくりトークイベント
中小企業基盤整備機構/徳島県/東京徳島県人会/
とくしま移住×創業支援ネットワーク

中小企業基盤整備機構が運営する東京・丸の内にある交流施設(TIP*S)で、UIターン起業家を招いて移住創業を促進するトークイベントを開催。

徳島から

まちごとファクトリー
徳島大学/徳島新聞社

徳島大学、徳島新聞社と連携した創業塾の開催。

とくしま創生アワード
徳島県/徳島新聞社

アワード協議会(県)へ参画し、地域再生の取組みを支援。

●既に創業した方対象イベント・セミナー

移住創業者の視察&交流会
移住を支援するNPO法人/地元の自治体

県内の移住創業者を訪ね、地元の支援者らと交流の場を持つ。

創業フェス!!
NPO法人チャレンジホムターズ

創業間もないお客さまを日曜市に出店してもらい、テストマーケティングの機会提供を図る取組み。

ステップアップセミナー
とくしま産業振興機構

創業間もない方のネットワーク作りをお手伝いする場の提供。

創業者ユーザー会の設立(予定)
地域金融機関

6年間で創業顧客が500名を突破したのを機に、交流の場を提供しファン拡大に繋げる。

○関係機関と幅広く連携!

4. 「女性」 活躍社会へ！

女性向け創業セミナー

花咲かねーさん企業組合/営業部女子課

女性起業家を支援する団体と連携して、女性の起業を促すセミナーを開催。



地

女性活躍ミーティング

県内金融機関/
徳島県/商工団体

女性活躍推進の観点から、女性が創業しやすい環境づくりについて、いろいろな立場の働く女性が意見交換。



産官金

経営者Book de トーク

徳島市立図書館

女性起業家が、感銘を受けた本を通して、経営や人生を語るトークイベントを、図書館と共催で実施。



官

5. 「若者」 キャリア教育で起業家の据野拡大！

小中学校へのお出前授業 「しごとセミナー」

徳島県教育委員会

「お金とは」
「働くとは」
「夢の実現」
をテーマに出前授業を実施。



学

高校、専門学校生への 起業家教育

各教育機関

起業家の心構えなどレクチャー。

学

大学との連携講座 「ビジネスプラン作成実習」

四国大学/徳島文理大学/徳島大学

連携協定を締結している県内3大学と「ビジネスプラン作成実習」などの実践的な講座を開催。



学

社長のかばんもち

四国大学

大学に対して元気な若手経営者と交流する機会をつくり、地元で創業する意識の醸成に繋がる取組みを実施。



産学



平成30年2月23日
経済産業省が主催する
「第7回キャリア教育アワード」の
中小企業の部に応募し、
奨励賞を受賞！

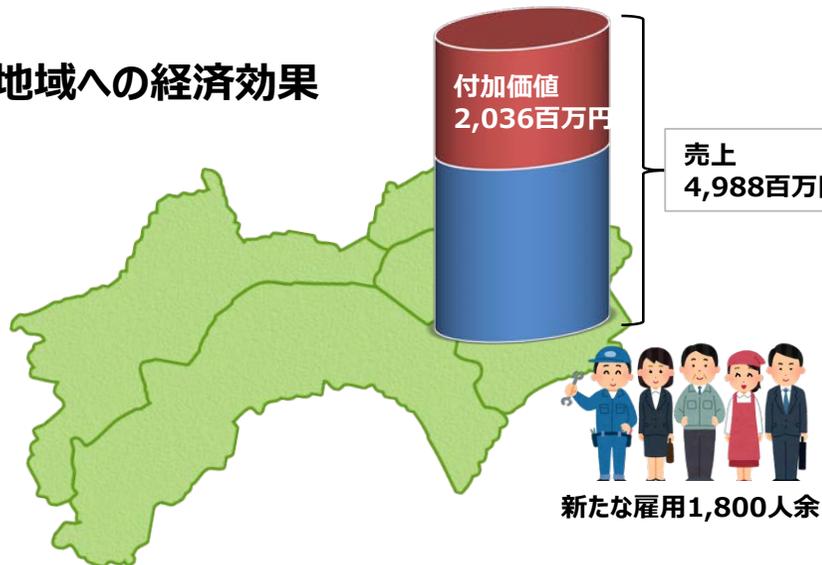


6. 実績

開催イベント・セミナーの回数と参加人数 (H24~H31.03)

イベント・セミナー種別	回数
小中高しごとセミナー	72校
地域ビジネス・シニア向け	4回
学生・若者向け	30回
女性向け	27回
一般向け (出張相談・セミナー・イベント)	132回
金融機関、支援機関向け	27回
業界団体向け	8回
合計	300回

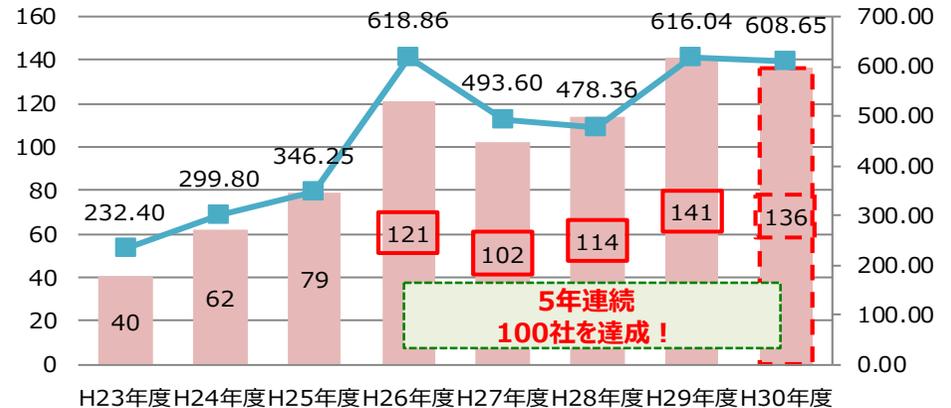
地域への経済効果



創業保証企業数の推移

(単位: 社)

(単位: 百万)

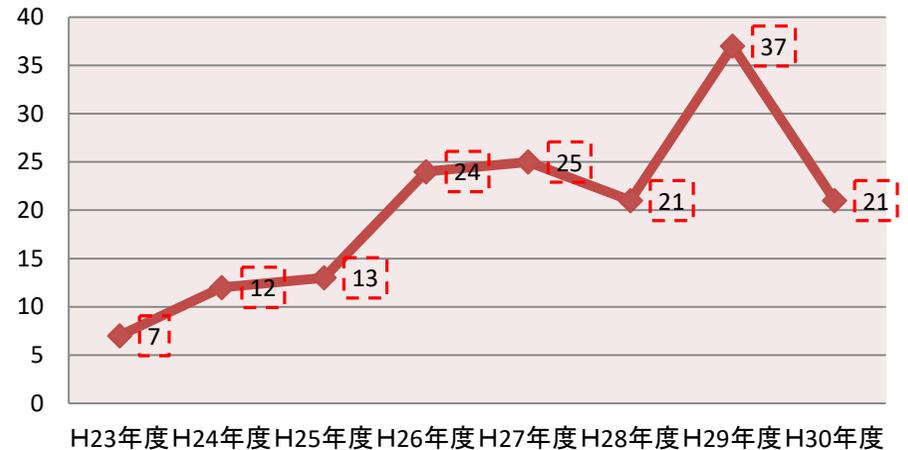


H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度

平成23年度に本格的に創業支援に取り組み以来、当協会がサポート (創業保証) した累計企業数が795社を突破!

創業者全体に占める女性創業者の推移

単位: 人



H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度

仕事を創る

● 県内の事例から

西本真岐さん（阿南市羽ノ浦町中庄）と新見みゆきさん（同町春日野）。西本さんは居宅介護支援事業所「新見さん」は訪問介護事業所の管理者をそれぞれ務め、二人三脚で会社経営に挑んでいる。西本さんは以前、阿

来的な創業を意識する業を支援する公的機関の存在を知った。新見脈と信頼から利用者は徐々に増えたが、人手不足という経営課題に直面している。

ひなたのヘルパーは、2人を含めて5人で何度も事業計画を練り直し、金融機関からだけ。利用を断らなければならぬケースも900万円の融資を受けられた。事業所の開あり、目標としていた

理想のサービス追求

介護

始めた。理想として掲げたのは、利用者一人一人に合ったサービスの提供だった。

2人とも管理者や経営者としての経験はなかった。最初に相談した金融機関には融資を断られた。諦めずに方策を探っていたところ、創

24時間体制のサービス提供も当面は難しい。新見さんは「需要は絶対にある。人手が確保できれば実現できる」とどこかしさを感

2人は「利用者に関わらない」と、将来的に規模を拡大するつもりは提供するために頑張らない。初心を忘れず、抜く。



介護の事業所を運営する会社を設立した西本さん（左）と新見さん（右）阿南市宝田町部の「ひなた」

（三木研司）

仕事を創る

● 県内の事例から

015年1月にオープンの時間を大事にした。田分団員が各自の職

い。漠然と夢見てきた業を生かして水道工事や看板作りなどに協

力。改装費用を抑えら

それを、良いものを提供するために質を落とせない。1年間悩んだ末、値上げに踏み切った。「味に自信が

対する不安はなかつ

還暦目前に開店決意

シニア

こうと、まずは鮮魚店

と同じ地域で店舗を探

計画を立てて採算が取

第に客足は伸び、黒字

に転じた。

「店を始めてこんな

厳道して仕入れたウナギを炭火で丁寧に焼く

吉見理さん（右）と妻美幸さん（左）徳島市秋田町4



に元気になれると思うと語る。夫婦にとってなかった」と美幸さんは「生活でできる売り上

ん。目の障害で人生をびががあれば十分」。体悲観した過去があるこの動く限り、理想の店とを打ち明け、今の充

追いを求めていく。

（大塚康代）

こちんまりした店内に炭火焼きウナギの香ばしいにおいが漂い、竹細工や和紙の照明が落ち着いた雰囲気を感じ出す。徳島市秋田町4のビル1階にあるウナギ料理専門店「吉や」。吉見理さん（右）と妻美幸さん（左）同市かは無理なく自分たちちとさ橋3夫妻が2

仕事を創る

県内の事例から

訪問介護事業所などを運営する「ひなた」の西本真岐さん(40)は創業前、いきなり壁に直面した。「事業内容は決まっているのに、どのような手続きをすればいいのか全く分からない」

最初に相談した金融機関に融資を断られ、県信用保証協会の創業

相談窓口を利用して手続きが進んだ。保証協会のバックアップがなければ会社は設立できなかったと振り返る。機や商品・サービスの政府は、日本再興戦略、個性、価格など、第2段階で開業率を10%台に引き上げる目標を掲げる。しかし、厚生労働省によると、2015年度の全国の開業率は、第4段階で収支計画

冊子では、ポイントと4段階に分けてアドバースする。第1段階で創業の動機や商品・サービスの政府は、日本再興戦略、個性、価格など、第2段階で開業率を10%台に引き上げる目標を掲げる。しかし、厚生労働省によると、2015年度の全国の開業率は、第4段階で収支計画

と成る事業計画書がしっかりしていなければ創業に至らない」と方説する。

日本政策金融公庫総合研究所が、14年度に全国の18・69歳の男女にインターネットで行った「起業と起業意識に関する調査」で、「起業に関心あり」とする。等并言子代表

事業計画書作り重視

支援

5・2%。徳島県は4・2%にとどまる。創業には資金面をはじめ、準備が必要なく、かつの課題がある。保証協会が重視するのは事業計画書だ。創業までの手順を示している。『担保』

面(記入を勧める。作成を通じて事業のイメージを具体化させていく。事業計画書は、金融機関の融資にも必要とされ、創業支援チームの森卓史リーダーは「不十分な項目は何度も考え、書き直しても取り組みも課題だ。『子どもを預かる事業はどうか』『掃除を手伝うビジネスをやりたい』。女性経営者でつくる『花咲かねえ』調査」では、11年に開業した企業のうち15年功のポイントを挙げ、末までに廃業したのは10・2%に上る。

日本政策金融公庫、自「資金の蓄えなども含め準備段階が重要だ」と指摘している。(三木研司) おわり



花咲かねえさん企業組合が県の委託で開設した女性起業家支援ルームACT。組合員が創業経験を生かしてアドバイスする。徳島市

仕事を創る

県内の事例から

「創業するなら保証協会へ」。徳島県信用保証協会は2012年度に創業支援課を新設、相談窓口を開設するなどして創業支援に力を入れている。担当者は信用保証制度の説明以外に、金融機関から融資を受けるのに必要となる事業計画書の作成や、県の補助金の活用などについて

て創業希望者にアドバースする。昨年10月には徳島市で「1日1創業セミナー」を開催し、100名以上の起業家を呼び寄せた。4県の起業家が自身の体験を語り、創業希望者や金融機関関係者ら約200人が熱心に耳を傾けた。「女性向けの」「シニア向け」

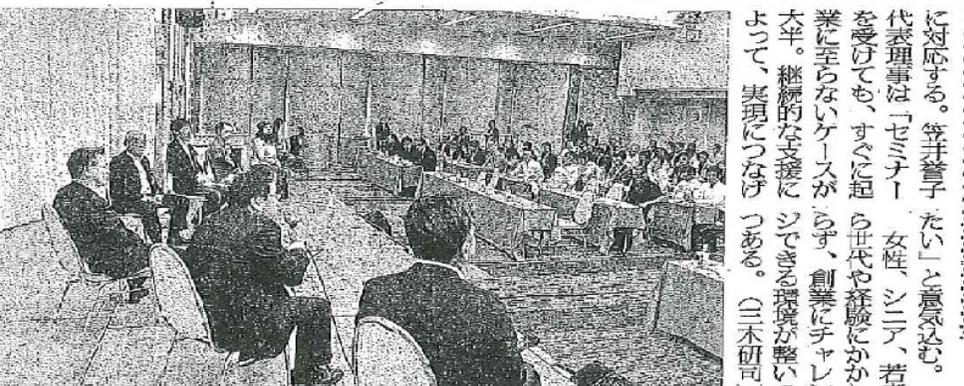
15年度、徳島支店の創業融資(創業前および創業後1年以内)の件数は110件、16年度も12月末時点で88件と、4年連続で1000件を上回るペースだ。国民生活事業の貸付均等化は、創業希望者ら約200人が参加した。昨年10月、徳島市の阿波観光ホテル

環境整備し活性化へ

支援

のためには必要」と強調する。創業支援課を新設する前の11年度の創業相談件数は76件、創業保証案件数は40件だった。創業支援課から創業支援チームに変更した15年度は224件、102件と着実に増加。16年度も12月末時点

15年度、徳島支店の創業融資(創業前および創業後1年以内)の件数は110件、16年度も12月末時点で88件と、4年連続で1000件を上回るペースだ。国民生活事業の貸付均等化は、創業希望者ら約200人が参加した。昨年10月、徳島市の阿波観光ホテル



代表理事は「セミナーを受け、世代や経験にかかわらず、創業にチャレンジする。継続的な支援にできる環境を整いつよって、実現につなげたい」と意気込む。

Uターン女性カフェ開業

県信用保証協 移住・創業支援受け

徳島県信用保証協会が昨年度内で開いた移住希望者向け創業支援セミナーを受講し、東京からUターンした藤岡あすかさん(28)は徳島市で4月、徳島駅近くに野菜や果物を低温で圧搾して作る「ゴールドプレスジュース」のカフェをオープンさせた。協会では昨年からの移住・創業支援に力を入れており、藤岡さんはセミナー受講生の創業第1号となった。

「東京や海外の流行 島では都会ほど知られを敏感に感じたい。でていなかったこともあも、創業するなら徳島り、カフェのメインにだと思つた」。藤岡さしようと考えた。んは、昔からカフェ巡 起業への思いも強りが好きだったことも、協会が開いたセミナーに、カフェを開業す ナーに参加。徳島へ入るといふ目標を持って、Uターンし創業した都内のオーガニックカ 人の話を聞いて刺激をフエに就職した。受け、習月には帰省にカフェで働く中、栄 合わせて協会の相談窓養素を早く吸収できて 口を訪ねた。美容と健康にいいとき その後、担当者とのめるゴールドプレスジ ールで連絡を取り合いユースに引かれた。徳 ながら物件探しや事業

徳島駅 近く セミナー受講生 第1号



県信用保証協会の支援でカフェを開業した藤岡さん―徳島市一番町2のナスカフェ

計画づくりを進め、県内店舗や徳島ならではの商品の開発などとして、各1回セミナーを開き、藤岡さんを含め首都圏の約120人が参加した。現在、藤岡さん以外にもセミナーの受講生数人が移住・創業に向けて、相談に訪れたり準備を進めたりしているという。協会は本年度も都内でセミナーを開催する方針。

17日には、新たな移住・創業希望者の発掘や広域的な支援態勢の構築を目的に、都内で県や日本公庫、県内金融機関、移住・交流推進機構、中小企業基盤整備機構、証券大手など計16機関との「首都圏ネットワーク連絡会議」も初めて開く。(中野由梨)

とスムーズに創業できた」と振り返る。カフェではアルコールや軽食も提供する。開業から1カ月を迎え、「イベントへの出展など連携協定を結ぶ、都内で8、12月に各1回セミナーを開き、藤岡さんを含め首都圏の約120人が参加した。現在、藤岡さん以外にもセミナーの受講生数人が移住・創業に向けて、相談に訪れたり準備を進めたりしているという。協会は本年度も都内でセミナーを開催する方針。